

## 令和4年度第2回鎌ヶ谷市図書館協議会会議録

- 1 開催日時 令和4年11月21日（月）  
午前10時00分～午前11時23分
- 2 開催場所 鎌ヶ谷市立図書館3階集会室
- 3 出席者
  - (1) 委員 中野由博委員長 濱口貞美委員 佐藤克己委員  
辻 洋介委員 渡邊みどり委員 滝本はる恵委員  
齊藤日出雄委員 西本則子委員 市原 徹委員
  - (2) 市側 (事務局)  
岩松生涯学習推進課長 斉藤図書館長  
谷口副館長 土肥 田中
  - (3) 傍聴人 なし
- 4 鎌ヶ谷市図書館協議会  
報告
  - ①「令和3年度図書館利用者アンケート」集計結果について
  - ②「先進館視察」について中野委員長が鎌ヶ谷市図書館協議会運営規則第3条の規定により議長として議事を進行する。  
その中で、会議録署名委員は、名簿順に2人を選出することとして、今回の会議録署名委員は、西本委員と市原委員に決定した。  
  
議長 報告案件の1点目「令和3年度図書館利用者アンケート」集計結果について、事務局より説明願います。  
事務局 —「令和3年度図書館利用者アンケート」集計結果について資料に基づき内容を説明—  
議長 ただ今の説明を受けて、ご意見、ご質問があればお願いします。  
委員 資料の8ページ、Q10のイベントのなかで「子ども劇場」はどの項目に入っているのでしょうか。  
事務局 「子ども劇場」の項目は入っておりません。次回アンケートからイベントに含めたいと考えております。

委員 何故、入っていないのか。

事務局 委託業者が実施したイベントのみを選択していたため、このような結果になりました。次回からは、ご意見を尊重して含めてまいります。

委員 このような結果を聞くと、ボランティアとしてのやる気が失われてしまう。担当が変わったとしても、今回の件は引き継いでいただきたい。

事務局 今年度のアンケートから改善いたします。

委員 「アンケート自由記述のまとめ」のなかで、イベントの具体的な意見とあるが、どのような内容なのか。

事務局 作家を招聘しての講演会、古代史の講演会、ヌイグルミお泊り会、土・日のおはなし会などの実施について意見をいただいております。

委員 資料の7ページQ9のインターネットの利用についてのアンケートは、何に対しての判断材料となるのか。

事務局 図書館利用者のインターネット環境についての実情を得ることで、今後の情報発信などに反映させていきたいと考えます。

委員 図書館内でのW i F iの利用促進についてはどうか。

事務局 従来は2階の参考資料室のみでありましたが、本年10月から図書館全館での利用が可能となりました。

委員 アメリカの図書館では、パソコンの貸出を行っている。利用者の教育の機会均等を図るためだとのことだが、どのように考えるか。

事務局 現在、利用者が使用できるパソコンの設置もできていないので、まずは今後の図書館のレイアウトを考える時点で導入を検討したい。パソコンの貸出についても将来的には検討しなければならない課題であると承知している。

委員 O P A C（検索機）とホームページでの検索機能は連動しているのか。

事務局 連動している。

委員 O P A C（検索機）を増設することとW i F i環境の整備は矛盾するように思われる。二重投資をしないように気をつけてもらいたい。

委員 一般用と子ども用のO P A C（検索機）の画面が違うが、一般用は見づらい。

事務局 システム更新時に検討してまいりたいと思います。

- 議 長 ほかにご意見はありますか。
- 議 長 ご意見、ご質問がないようですので、報告案件の1点目については終了します。続きまして報告案件の2点目、「先進館視察」について視察研修に参加された市原委員よりご報告をお願いします。
- 委 員 —市原委員より視察概要について説明—
- 議 長 市原委員、ありがとうございました。
- 議 長 ほかに、視察に関しての所感などありましたら、委員の皆様のご発言をお願いします。
- 委 員 電子図書について感じたことは、予算を投じて実施に踏み切ったことは素晴らしいと思う。ただ、残念なのは利用者の意向を把握するためのアンケートをシステム上、実施することができないというのは非常にもったいない。また、本の数量が少ない。一番に感じたことは、導入のコンセプトがはっきりしていないことが問題である。電子図書開始の本年5月において利用者は1,287人、9月時点では493人と激減しているが、その要因も解析できない。
- このまま、習志野市と同様に鎌ヶ谷市で電子図書を導入しても、うまくいかないと思われる。何らかの工夫が必要。このことが分かっただけでも、今回の視察は参考になったと考える。
- 委 員 コンセプトを明確にするには、どうしたら良いか。
- 委 員 これからの図書館の流れは、ただ蔵書を増やすのではなく、電子図書を導入することにより蔵書数を抑えて、来館された方々の憩いの場を拡大するなど、明確なコンセプトが必要。そのような方針の基に電子図書の導入を検討してはどうか。
- 委 員 確かに、図書館は本を借りるだけでなく、ゆっくりと新聞や雑誌が読める憩いの場としての役割が必要であると思う。
- 委 員 率直な感想として、鎌ヶ谷市での電子図書の導入は早いと思われる。
- 子どもたちに本を読む習慣がつくと学習能力も高くなる。
- 秋田では学習塾にけるお金は少ないが、学力は非常に高い。これは図書館利用率が高いことに起因するものと考えられる。子どもたちが本に触れる機会を増やすのは、図書館で実際に様々な本を手にする事だと思う。
- 今後の図書館を考えるうえで、安易に電子図書に頼るのでは

なく、読書環境をどのように整えるかを検討すべき。

委員 鎌ヶ谷市で電子図書を導入するのは時期尚早。流行っているから始めるのでは効果は見込めない。

電子図書は、やはり見にくい。コンテンツが少ない。費用対効果が見込めない。図鑑は綺麗で良かった。

また、図書館に来なくても良い環境をつくるのが、図書館事業としてどうなのか、疑問もある。

図書館の本来の目的は、新刊書や流行している本を揃えることではなく、手に入りにくい古書や絶版となった本や資料を見ることができるといったものではないだろうか。

委員 電子図書は本の種類が少ない。児童書もあったが、子どもたちは紙の本が楽しい。本の楽しさを覚えてもらうのが先。

委員 個人的意見ですが、電子図書を利用するためのパスワードなど、入力が苦手な導入されても利用しないと思う。

委員 久しぶりの視察は、たくさんの収穫があった。

習志野市立中央図書館は、それほど広いとも、蔵書数が多いとも感じなかった。ただ、大型図書の展示の方法がスペースを取って見やすくなっていた。

ボランティア室があり、司書が選んだ本が並んでいる。初心者を受け入れて3年間をかけて、本の読み聞かせの基礎を習得させている。その後についての検討はなかったが。

特色として核関連の書籍が配置されていた。習志野市は核兵器廃絶平和宣言都市ということで、図書館開設当初から継続されているコーナーだとのこと。公共図書館に、そのような場所が設けられていることが大事だと感じた。

電子図書については、多くの予算を使ってまで整備するものなのか。期限が設定されていて、時期が来ると利用できなくなる。蔵書として残すことできない。

ハンディキャップコーナーは利用者がいないということであったが、そういった場所を用意したということ自体が評価できることである。

電子図書導入には賛成ではないが、図書館に来館できない障がいをお持ちの方については、心に留めておかななくてはならないと思った。

委員 アンケートの回答者で10代、20代の方が少ない。

図書館に若い人が来てほしい。

現在の資料室の使い方がもったいない。若い人が集まれる場所にできないだろうか。

事務局 電子図書について、引き続き委員の皆様の意見を伺って検討してまいります。また、予約本のコーナーや参考資料室の有効活用について、費用面、物理的な面で問題もありますので、優先順位を見極めながら検討してまいりたいと考えております。

議長 報告については、以上でよろしいでしょうか。

それでは、その他ということでは何かございますか。

事務局 次回の協議会では、令和5年度図書館運営方針（案）並びに令和5年度事業計画（案）をお諮りしたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

議長 ありがとうございました。

それでは、本日の会議を終了いたします。

次回の協議会は年が明けて2月の上旬を予定しております。日程等の調整が整いしだい、委員の皆様にご連絡いたしますので、よろしくお願いいたします。

以上をもちまして、本日の図書館協議会を閉会いたします。

皆様、お疲れさまでした。

以上、会議の経過を記載し、相違ないことを証するため、次に署名する。

令和4年12月13日

署名人 西本則子 印

署名人 市原 徹 印